2018年11月23日号　三重タイムズ

野瀬建築

コラムシリーズ Vol.7

過ごしやすくなる！あなたの住まい！

動きやすいトイレを作るには？

『住まいの不安・不満』を解消します。野瀬建築・野瀬です。

トイレはプライベートな部分なので、出来る限り誰かの世話になりたくないものですよね。一人で利用する事を前提に動きやすいトイレを形にする事を忘れてはなりません。

●出入りがしやすい…排泄は整理現状なので「待ったなし」の状況も予想されます。そのような中で出入りのしやすさは大切な条件の一つです。

具体的には、トイレのドアが開閉しやすく「より好ましいのは引戸」、廊下とトイレに段差がないことも重要です。その他、車椅子での利用や介助の事も考えれば出入口は広くとるのが理想です。

●トイレ内で動きやすい…トイレの中に入った後、便座に腰掛けるまでの動作がスムーズに出来るように配慮されていると、使い勝手が良くなります。

例えば、「手摺につかまり、体を安定させて移動が出来る」「身体の向きをあまり変えずに使える位置に便器が設置されている」等がポイントです。車椅子や介助の事も考えればお互いが無理なく動けるスペースを確保出来る事が望ましいでしょう。

野瀬建築では『介護リフォーム』に関わるご相談を承っております。お気軽にお尋ね下さい。

◆㈲野瀬建築＝電話０１２０（34）１８２９、津市高茶屋七丁目６番36号（井村屋通りローソン交差点を西へ）。